

令和6年度

中標津町福祉課 × 中標津町教育委員会

はぐくみ@カフェ

子どもを育む
「教育」と「福祉」の情報交換会



令和6年11月5日(火) 13:40～
中標津町福祉課障がい福祉係 澁木 高浩
中標津町教育委員会 指導室 佐藤 雅澄

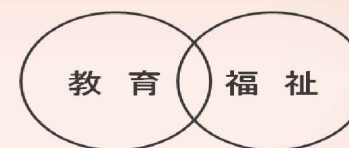
中標津町の紹介

- ◆ 面積: 685km² (全道33番目) R6
- ◆ 人口: 22,297人 (全道36番目) R6
(※町としては4番目) R6
- ◆ 若者が多い町
(出生数 道内24位/179市町村) R1
(高齢者人口 道内176位/179市町村) R3



Menu

- ◆ コンセプト
- ◆ 『はぐくみ@カフェ』実施概要
- ◆ R5年度の取組
- ◆ R6年度の取組
- ◆ これからの展望



どうして取り組むの？

コンセプト

コネクト



■趣旨

発達のおくれや障がいのある児童について、就学後、学校側と障がい児福祉サービス事業所が連携を図る機会がごく限られていることから、町内の連携支援体制を構築することを主眼とし、子どもの発達支援に携わる「教育」「保健・福祉」の関係者同士のつながりを深める場を提供するため、ワールドカフェ※方式を用いた情報交換会『はぐくみ@カフェ』を開催する。

※「ワールド・カフェ」とは ——

その名のとおり『カフェ』のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、ほかのテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより、参加した全員の意見や知識を集めることができる対話コミュニケーション手法の一つ。

1995年に米国のアニータ・ブラウン氏とデイビッド・アイザックス氏が提唱した。

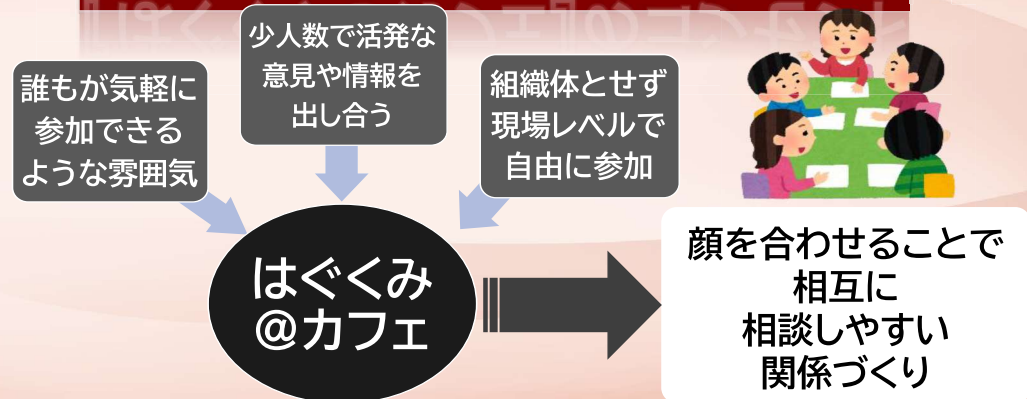
- 地域における現状と課題の把握・情報共有

➡ 共通認識

- ライフステージを通じた切れ目のない支援

➡ 一貫性・継続性

『はぐくみ@カフェ』のコンセプト





これならできるかも！



『はぐくみ@カフェ』実施概要

■『はぐくみ@カフェ』実施概要

専門家による“**セミナー**”と参加者による“**情報交換会**”の2部構成とし、令和5年度は、2回開催する。



■開催計画

1 主催

中標津町・中標津町教育委員会

2 実施時期・時間

第1回 令和5年11月 20日(月)

第2回 令和6年 2月 22日(木)

※いずれも平日 午後2時～午後4時(2時間)

3 参加対象

町内の子どもの発達支援に携わる

「教育」「保健・福祉」分野の関係者

■開催内容

4 実施内容

第1部「教育と福祉の連携セミナー」

第2部「情報交換会」(はぐくみ@カフェ)

5 タイムスケジュール(モデル)

14:00 開会(挨拶・説明)

14:10 第1部「セミナー」[50分]

15:00 休憩

15:10 第2部「情報交換会」(はぐくみ@カフェ)[50分]

16:00 閉会

■第1回セミナー

北海道立子ども総合医療・療育センター(コドモックル)は、出生前から一貫した医療・療育体制を確保するため、全道域を対象とした高度で専門的な医療を担う「小児総合保健センター」と道央・道南地域の療育機能を担う「札幌肢体不自由児総合療育センター」の機能を一体的に整備し、平成19年9月に開設された。

【講師】

○北海道立子ども総合医療・療育センター
リハビリテーション課 作業療法係長 松下慎司 氏

テーマ

「日常生活の中で子どもの発達を支援する」

■第2回セミナー

発達障害者支援道東地域センター「きら星」(社会福祉法人帯広福祉協会)は、平成17年から北海道より業務の委託を受け、発達障がいによって日常生活や社会生活に制限を受ける児童とその家族等に対し、専門的な観点から支援を行っている。

【講師】

○発達障害者支援道東地域センター「きら星」
センター長 丸山 芳孝 氏

テーマ

「発達障害の理解 教育と福祉の連携
* 地域に求められること *

■情報交換会(はぐくみ@カフェ)

概要

★ワールドカフェ方式の手順

- ① まずは、年齢の近い人、関係者同士で4～6人程度のテーブルをいくつかつくる。
- ② 付箋紙等を活用して、テーマに対して意見をたくさん書いてもらう。
- ③ ある程度意見が出たら、今度は1人を残して、みんな別のテーブルへ移動。
- ④ 残った1人が移動してきた人にどんな意見が出たかを説明。
- ⑤ 説明を受けたら、それぞれの立場からさらに意見を追加していく。

→再び③から

【テーマ】

第1回「自己紹介」

現場でどのようなかかわりをしているか。
所属する機関・団体の職務や事業内容をそれぞれ紹介し合う。

【テーマ】

第2回「Q-SACCSを用いた地域支援体制の”見える化”」

町内の社会資源をピックアップ。
Q-SACCSを作成し、連携支援体制の
「見える化」を図る。

ご案内 & チラシ

子どもを育む「教育」と「福祉」の情報交換会

第1回 はぐくみ@カフェ はじめま〜す。

子どもの発達支援や障がい児支援に携わる関係者どうしのつながりを深める場として『ワールドカフェ』*方式で、かしこまらずに、ざっくばらんに。

日時 令和5年11月20日(月) 14:00~16:00 (13:30 開始)

場所 中津津町役場 3階 301号会議室

参加申込は用紙に用紙にあります

第1部「教育と福祉の連携セミナー」 (13:30~14:00)
講師 中津津町子ども発達支援センター 所長 藤田 浩二
14:00~14:35

第2部「情報交換会(はぐくみ@カフェ)」 (14:35~16:00)
テーマ「Q-SACCSを用いた地域支援体制の見える化」
14:45~16:00

主催 中津津町 中津津町教育委員会

子どもを育む「教育」と「福祉」の情報交換会

第2回 はぐくみ@カフェ

子どもの発達支援や障がい児支援に携わる関係者どうしのつながりを深める場として『ワールド・カフェ』*形式で、かしこまらずに、ざっくばらんに。

日時 令和6年2月22日(木) 14:00~16:00 (13:30 開始)

場所 中津津町役場 3階 301号会議室

参加申込は用紙に用紙にあります

第1部「教育と福祉の連携セミナー」 (14:00~14:35)
講師 中津津町子ども発達支援センター センター長 藤田 浩二
14:45~16:00

第2部「情報交換会(はぐくみ@カフェ)」 (14:45~16:00)
テーマ「Q-SACCSを用いた地域支援体制の見える化」
14:45~16:00

主催 中津津町 中津津町教育委員会

子どもを育む「教育」と「福祉」の情報交換会(はぐくみ@カフェ)

第3回

日時 2024年10月17日(木) 10:00~12:00

場所 中津津町総合文化会館 2階 第2研修室

参加申込は用紙に用紙にあります

第1部「教育と福祉の連携セミナー」 (10:00~10:30)
講師 中津津町子ども発達支援センター センター長 藤田 浩二
10:30~11:00

第2部「情報交換会(はぐくみ@カフェ)」 (11:00~12:00)
テーマ「Q-SACCSを用いた地域支援体制の見える化」
11:00~12:00

主催 中津津町 中津津町教育委員会

令和5年度 発達障がい支援成果普及事業
令和5年度 障がい児等支援連携体制整備事業

子どもを育む「教育」と「福祉」の情報交換会

第1回 はぐくみ@カフェ はじめま〜す。

子どもの発達支援や障がい児支援に携わる関係者どうしのつながりを深める場として…『ワールドカフェ』*方式で、
かしこまらずに、ざっくばらんに。

※イメージです。コーヒーは用意しておりません。



これなら続けられるかも…

R5年度の取組
R2年度の取組



■第1回はぐくみ@カフェ

テーマ

「日常生活の中で子どもの発達を支援する」

【講師】

○北海道立子ども総合医療・療育センター
リハビリテーション課 作業療法係長 松下慎司 氏



3. 第1部 教育と福祉の連携セミナーはどうでしたか？

詳細 インサイト

とても良かった	11
良かった	9
あまり良くなかった	0
良くなかった	0



■第1回はぐくみ@カフェ



4. 第2部 情報交換会（はぐくみ@カフェ）はどうでしたか？

詳細

とても良かった	14
良かった	6
あまり良くなかった	0
良くなかった	0



■第1回はぐくみ@カフェ

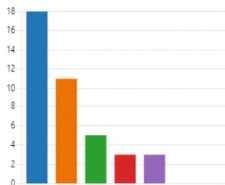
◆学校の先生だけではなく、様々な職種の方たちとお話ができ貴重な時間となりました。それぞれの立場から抱える課題など、自分たちだけではわからなかったこともたくさんあったので聞くことができて良かったです。**同じ子どもに関わる立場として、一つの問題に対して様々な観点から解決に向かって取り組んでいけるよう、たくさんお話ができ、参加させていただいて本当に良かったと思いました。**

◆いろいろな方との交流ができ、有意義な時間だったと思います。それぞれの職種の状況や考え、困ってること、こうしたいことなど、深くは話せませんでしたが、聞いたことが良かったです。**どんどんこの輪が、気兼ねなく気軽に広がってほしいなと思います。**次回は、ほかの先生たちに参加を進めたいです。

6. 中標津町の「教育」と「福祉」の連携のために、何が必要だと思いますか？（複数選択可）

詳細

情報交換会	18
研修・セミナー	11
「教育」「福祉」連携組織団体	5
チラシや案内などの配布物作成	3
SNSを活用した情報発信	3
連携する必要性を感じない	0
その他	0

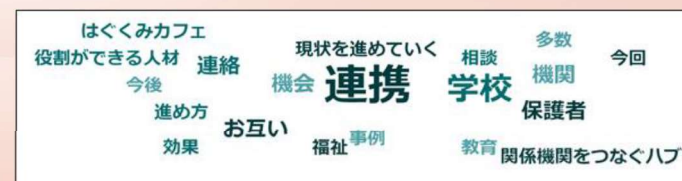


■第1回はぐくみ@カフェ

はぐくみ@カフェに参加してみてのご意見・ご感想・改善点など



中標津町の「教育」「福祉」についてのご意見や気になっていること



■ 第2回はぐくみ@カフェ

発達障害支援にかかわる課題やポイント

- a 連携体制づくり
- b 早期発見・早期療育
- c 保護者支援
- d きょうだい支援
- e 一般地域住民への理解啓発
- f その他の課題

テーマ

「発達障害の理解 教育と福祉の連携」

* 地域に求められること *

【講師】

○発達障害者支援道東地域センター「きら星」
センター長 丸山 芳孝 氏



■ 第2回はぐくみ@カフェ

■O-SAGOS (青:事業化できている、赤:明確化が課題、緑:機能強化が課題)

<市町村名> <人口> 人 <年間出生> 人	0～3歳	継続的 インターフェイス (引き継ぎ) SW1H	4～6歳	継続的 インターフェイス (引き継ぎ) SW1H	7～15歳
レベルⅠ (毎日) 日常生活水準					
継続的 インターフェイス (継続共有、紹介等) SW1H					
レベルⅡ (定期的) 専門療育の支援					
継続的 インターフェイス (継続共有、紹介等) SW1H					
レベルⅢ 医療的支援	病院 <内・外>	・・・継続・・・	病院 <内・外>	・・・継続・・・	病院 <内・外>

*事業の全てを自治体職員で実施○、一部の機能を外部に委託△、全てを外部に委託□を記入下さい。

■ 第2回はぐくみ@カフェ

◆**教育と福祉の連携を益々強化する必要があると強く感じた**と同時に、教職員が目の前にいる生徒の困り感を学校だけで抱えるのではなく、どのような福祉機関と連携すれば良いのかという所がもっと明瞭でなければならないと感じました。

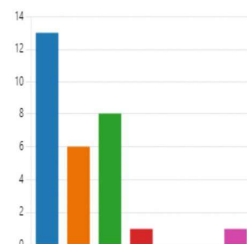
◆様々な立場の方と繋がれたのが良かったです。ありがとうございました。研修という形ではなく、**半期に一回でも、教育・福祉関係者が集う、顔を合わせ、緩やかにつながる会が有ったらいいな**と思いました。

◆様々な関係機関の方が居ましたが、**幼稚園や保育園、保健師はほとんど居なく、繋がりの薄さを感じました**。14時半から15時から開催だと。

6. 中津町の「教育」と「福祉」の連携のために、何が必要だと思いますか？ (複数選択可)

証照

- 情報交換会 13
- 研修・セミナー 6
- 「教育」「福祉」連携協議会 8
- プランや案内などの配布物作成 1
- SNSを活用した情報発信 0
- 連携する必要性を感じない 0
- その他 1



■ 第2回はぐくみ@カフェ

第2回 はぐくみ@カフェに参加してみてのご意見・ご感想・改善点など



7. 次年度以降も、はぐくみ@カフェを継続した方がよいと思いますか

証照

- 継続してほしい 13
- 継続しないでよい 1





ここを改善していこう！

R6年度の取組 R6年度の取組

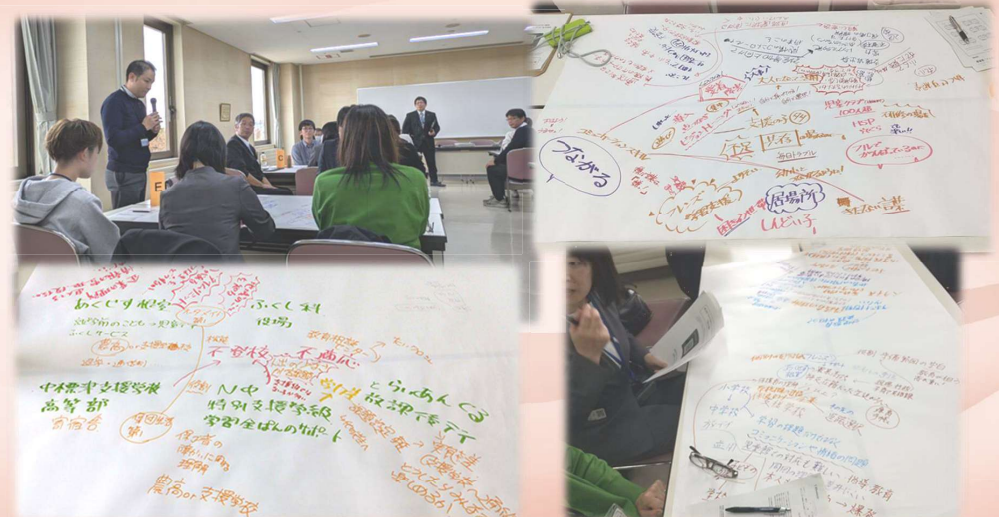


■第3回はぐくみ@カフェ

《改善点》

- ◆ たくさん情報交換をしたい！
→ **セミナーをカット**
- ◆ 役場職員の方の声も聞きたい！
→ **福祉課、教育委員会も一緒に参加**
- ◆ 幼稚園・保育園の先生に参加してほしい！
→ **午前中の時間帯に**
- ◆ 行きやすい場所にしたらもっと集まるかも！
→ **会場を役場から中標津町総合文化会館に**

■第3回はぐくみ@カフェ



■第3回はぐくみ@カフェ

◆今回初めて参加させていただきました。学校の現場にいと、どうしても視野が狭くなってしまいがちになるのですが、様々な立場の方のお話を聞いて、**生徒がこれまで、受けてきた支援が線になってつながっていること**を改めて感じることができました。また、1人じゃないと、とても心強く感じました。ぜひ、今後も継続していただきたいと思っています。学校に戻ってから、周りの先生方にもお勧めしました。今後、多くの方が参加できたらと思いました。有意義な時間でした。ありがとうございます。

◆今回2回目の参加ですが、人手不足や、限られた時間の中でのアプローチには限りがあるので、**関係機関の方々との情報共有はとても重要になってくるものだ**と改めて感じました。色々な方々との繋がりができたことを踏み台に、今後の支援に繋がれたらと感じました。ありがとうございました。

6. 次年度以降も、はぐくみ@カフェを継続した方がいいますか

回答

● 継続してほしい 19
● 継続しなくてもいい 0



■第3回はぐくみ@カフェ

8. はぐくみ@カフェを続けるとした場合、開催時期はいつ頃がいいと思いますか？

回答

● 4～5月 7
● 6～7月 10
● 8～9月 3
● 10～11月 13
● 12～1月 5
● 2～3月 6



9. 第1回、第2回のように講演会を開催するとしたら、どんな内容が聞きたいですか？

回答

● 特別支援教育について 19
● 不登校対応について 10
● 医療的支援について 2
● 児童生徒理解について 8
● 地域連携・地域支援について 13
● その他 1



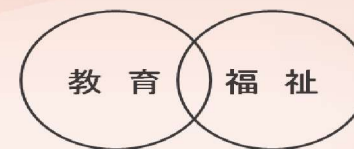
はぐくみ@カフェに参加してみてのご意見・ご感想・改善点など



■第3回はぐくみ@カフェ

《現時点での課題》

- ◆ 幼稚園・保育園の先生にも多く参加してもらえる工夫が必要。
- ◆ 就労施設の方にも参加してもらうことで、支援の視野を広げられる。
- ◆ 次年度以降も持続可能な取り組みにしていける。



こんなことができればな～

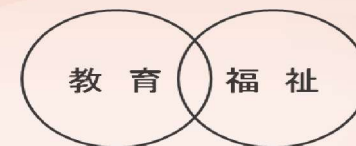
これからの展望



はぐくみ@カフェ ～その展望

『はぐくみ@カフェ』は、
“つながり”を築く土台づくり

まずは、関係者同士の“つながり”を深めることから。
それぞれの現場で日ごろ抱える
「課題」や「悩み」…
「こんな方法もあるのか」
「ここに相談すればいいんだ」
もしかすると、解決への糸口、きっかけに。



つながる

つながりの



*Thank you so much for your kind
attention.*